

itsuka-system

操作マニュアル

注意事項

当ソフトはファイルのコピー、移動などを行います。Windowsのシステムフォルダやプログラムフォルダなどをコピー元フォルダに指定すると、システムに悪影響を与える恐れがあります。データ保存用のフォルダ以外、指定しないようにしてください。当ソフトによって生じた如何なる損害に対しても、作者はその責任を負いません。

また、ファイル名称文字列に、フォルダ名称に使えない文字などが含まれている場合や、コピー元のフォルダ内ファイルを使用中の場合エラーが発生することがあります。（ファイルコピー時のエラーはエラーログが出力されます）

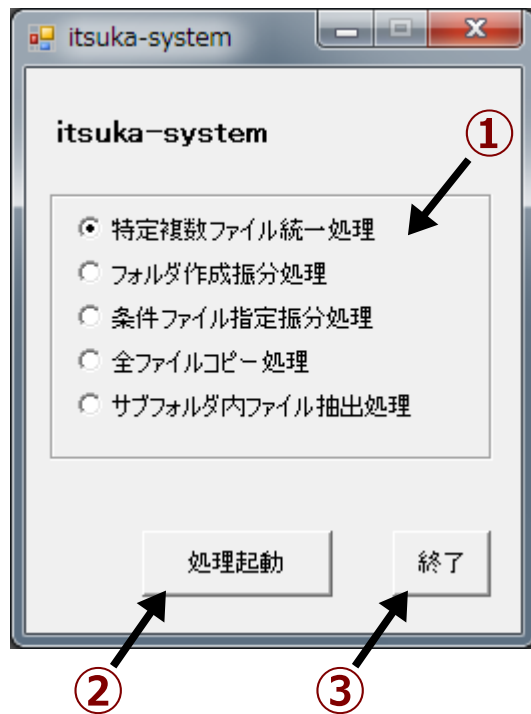
ファイルコピー時以外でエラーが発生した場合、お手数ですがエラー状況・エラーメッセージ等を製作者まで連絡していただけると助かります。

処理概要

当ソフトは、あらかじめ一定の命名規則のもとに名づけられたファイル群を、処理ごとの条件をもとに、フォルダに振り分けます。また、処理実行時に実行ディレクトリ下のLogディレクトリに、実行した日付のLOGファイルを作成します。

- ・ 特定ファイル統一処理 (※)
 - ・ フォルダ作成・振分処理
 - ・ 条件ファイル指定振分処理
- 上記三処理は子画面のリストからファイルを選択しコピー（移動）実行
- (※) 動きが理解しにくい処理のため、慣れてからの使用をお勧めします
-
- ・ 全ファイルコピー処理
 - ・ サブフォルダ内ファイル抽出処理
- 上記二処理は処理実行時に、対象のファイル全てがコピー（移動）実行

処理選択画面



ツールを起動するとこの画面が開きます

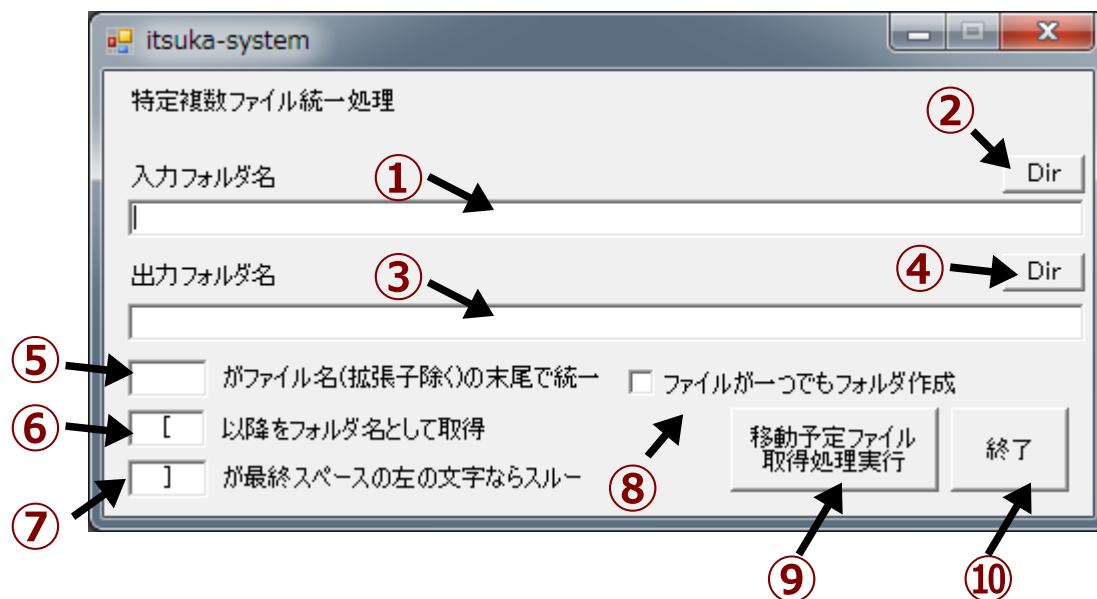
A. 処理起動時

1. ①処理選択ラジオボタンで起動する処理を選択
2. ②処理起動ボタン押下
→各処理起動

B. 処理終了時

1. ③終了ボタン押下
→ツール終了

特定複数ファイル統一処理①

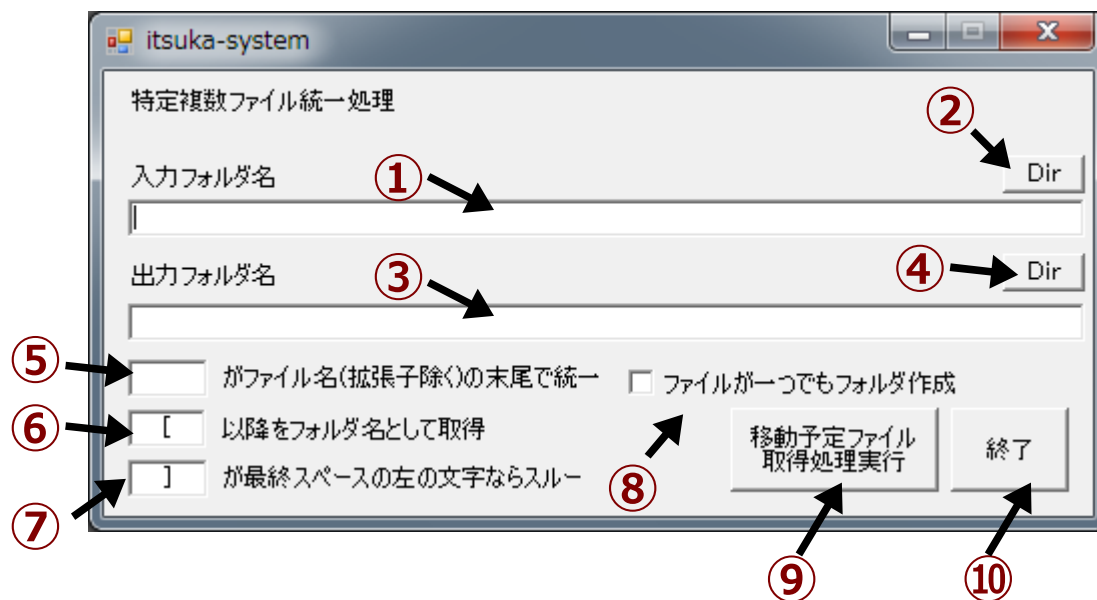


近似ファイルを同一フォルダにまとめます、スペースで区切られた部分でファイル名を分割し判定します。フォルダはスペースで区切られた前半部分のファイル名で作成します。

A. 移動予定ファイル取得処理実行時

1. ①入力フォルダ名設定BOXに入力ファイルを検索したいフォルダを設定
(②の入力フォルダ設定ボタン押下でも設定可能)
2. ③出力フォルダ名設定BOXにファイルを纏めたフォルダを出力したいフォルダを設定
(④の出力フォルダ設定ボタン押下でも設定可能)
3. ⑤項目に検索対象ファイルのファイル名末尾文字を設定
(未入力時はファイル名の制限無しで検索)

特定複数ファイル統一処理②



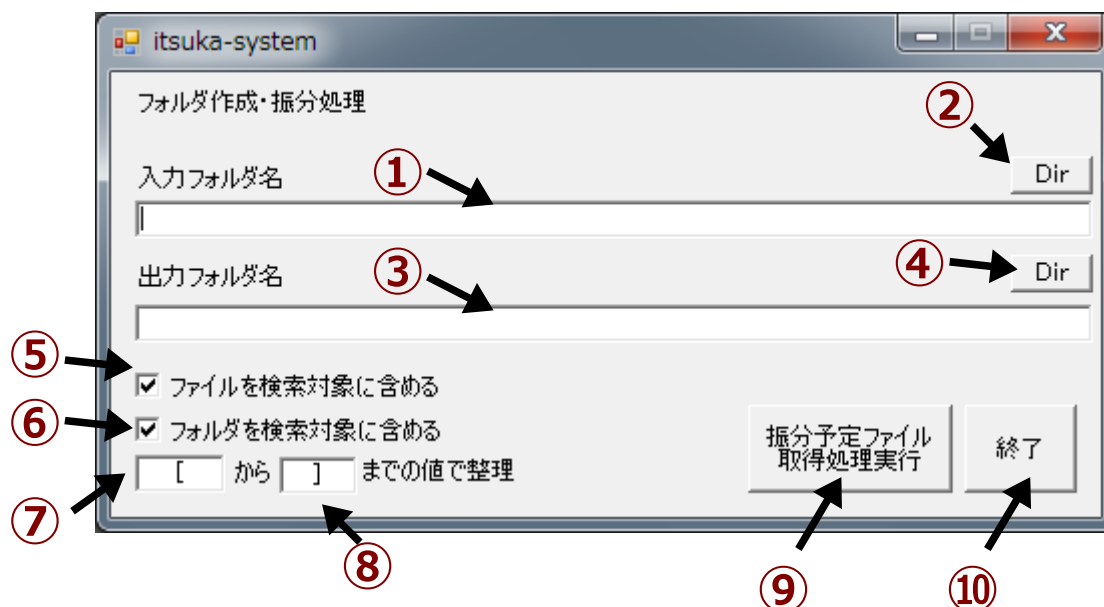
A. 移動予定ファイル取得処理実行時

4. ⑥項目から⑦項目と、スペースで区切られた残りの文字でコピー予定フォルダ名を作成
(⑧チェック時、ファイル名から複数ファイルの存在を読み取れずとも、コピー対象とする)
5. ⑨移動予定ファイル取得処理実行ボタン押下
→ファイル一覧を取得し、コピーファイル選択画面に遷移

B. 処理終了時

1. ⑩終了ボタン押下
→初期メニュー画面

フォルダ作成・振分処理①

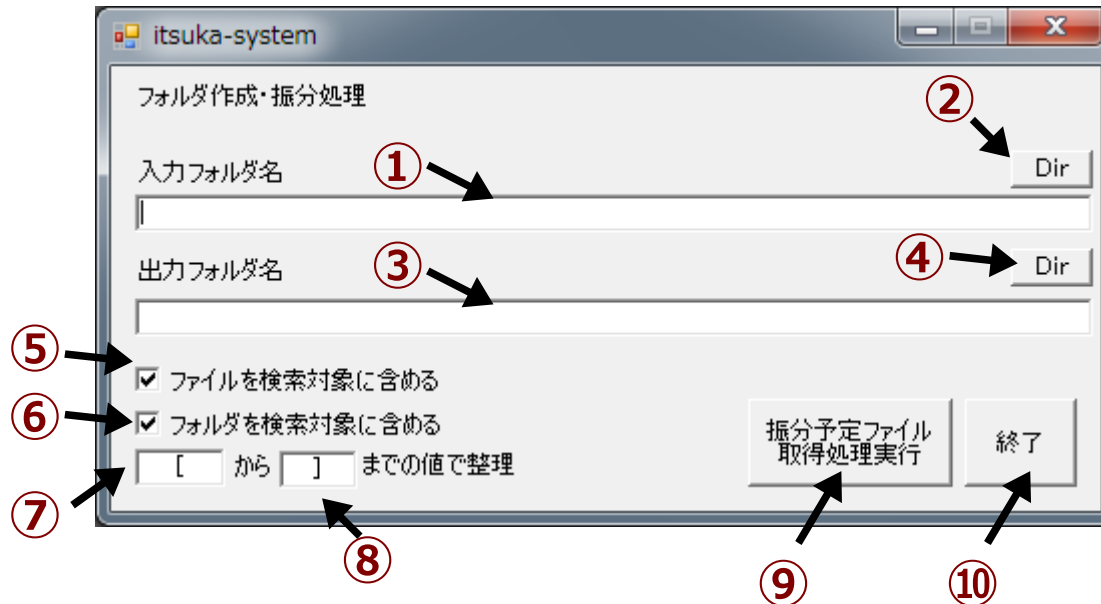


一定条件のもとに命名されたファイル・フォルダを同一フォルダにまとめます、ファイル名の⑦から⑧までの文字列でフォルダを作成し、ファイルを移管します。

A. 振分予定ファイル取得処理実行時

1. ①入力フォルダ名設定BOXに入力ファイル・フォルダを検索したいフォルダを設定
(②の入力フォルダ設定ボタン押下でも設定可能)
2. ③出力フォルダ名設定BOXにファイル・フォルダを纏めたフォルダを出力したいフォルダを設定
(④の出力フォルダ設定ボタン押下でも設定可能)
3. ⑤、⑥のチェックボックスによって、ファイル・フォルダの検索条件を設定

フォルダ作成・振分処理②



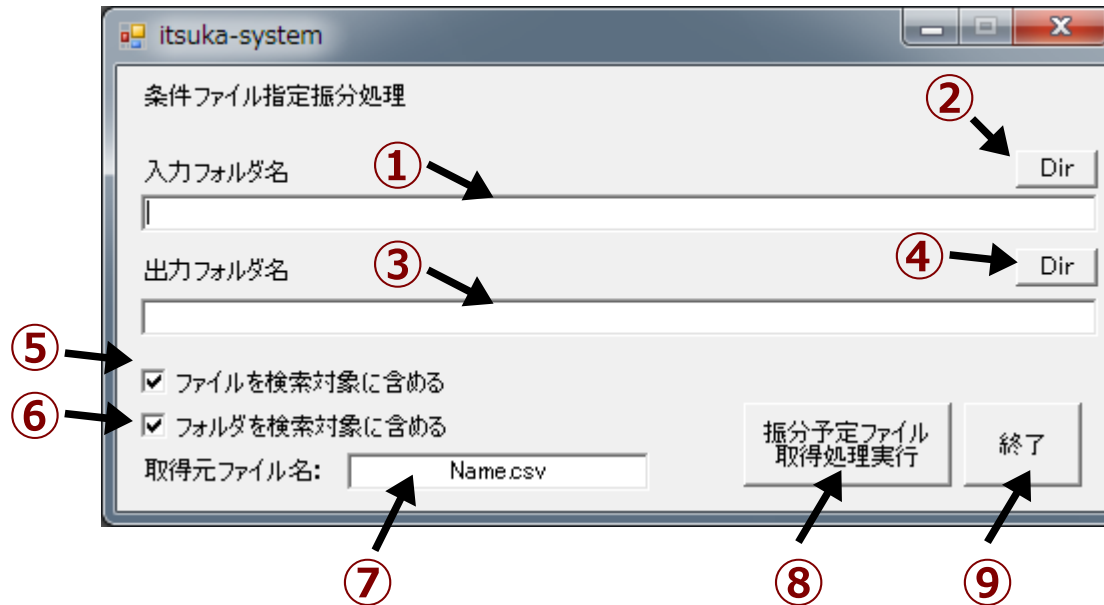
A. 振分予定ファイル取得処理実行時

4. ファイル名先頭から⑦の文字を探し、見つかった場合次の文字から⑧の文字を探し、⑦から⑧までの文字列でコピー予定フォルダ名を作成
(⑦が2文字以上の場合は、検索は文字列で行うが、先頭文字以降でフォルダ名作成)
5. ⑨振分予定ファイル取得処理実行ボタン押下
→ファイル一覧を取得し、コピーファイル選択画面に遷移

B. 処理終了時

1. ⑩終了ボタン押下
→初期メニュー画面

条件ファイル指定振分処理①

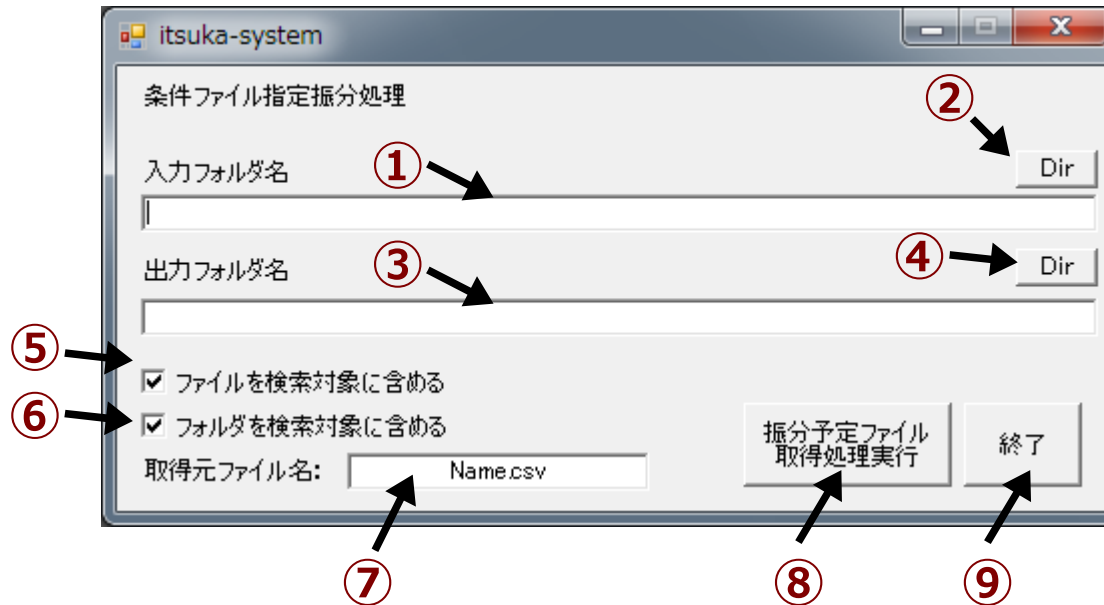


CSVファイル内の1項目目の文字列で検索したファイル・フォルダを、CSVファイル内の2項目目の文字列で作成したフォルダに移管します。（CSVファイル内項目は「”」括り「,」区切り）

A. 振分予定ファイル取得処理実行時

1. ①入力フォルダ名設定BOXに入力ファイル・フォルダを検索したいフォルダを設定
（②の入力フォルダ設定ボタン押下でも設定可能）
2. ③出力フォルダ名設定BOXにファイル・フォルダを纏めたフォルダを出力したいフォルダを設定
（④の出力フォルダ設定ボタン押下でも設定可能）
3. ⑤、⑥のチェックボックスによって、ファイル・フォルダの検索条件を設定

条件ファイル指定振分処理②



A. 振分予定ファイル取得処理実行時

4. 実行ファイルと同一フォルダに存在する⑦のCSVファイルを読み取ります。

(⑦のファイルが存在しない場合エラー・中身がない場合は正常(対象ファイル0件))

5. ⑧振分予定ファイル取得処理実行ボタン押下

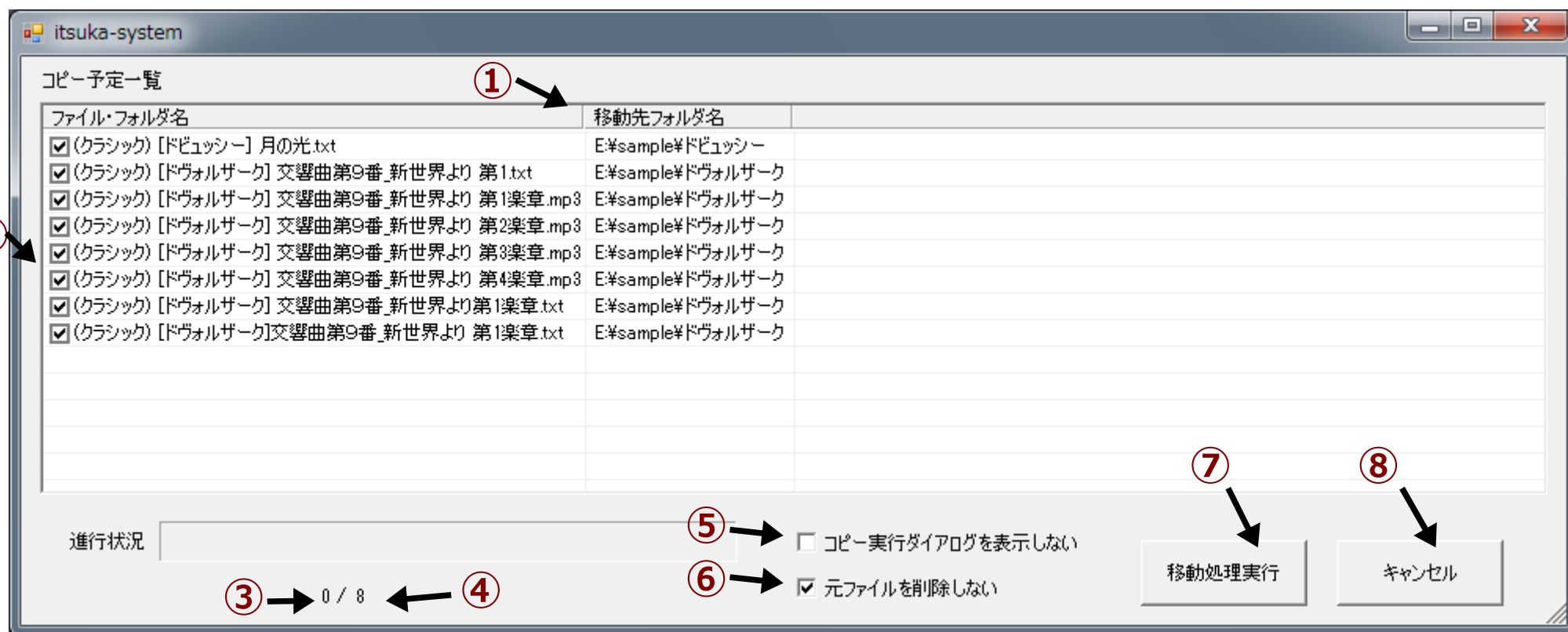
→ファイル一覧を取得し、コピーファイル選択画面に遷移

B. 処理終了時

1. ⑨終了ボタン押下

→初期メニュー画面

コピーダイアログ画面①

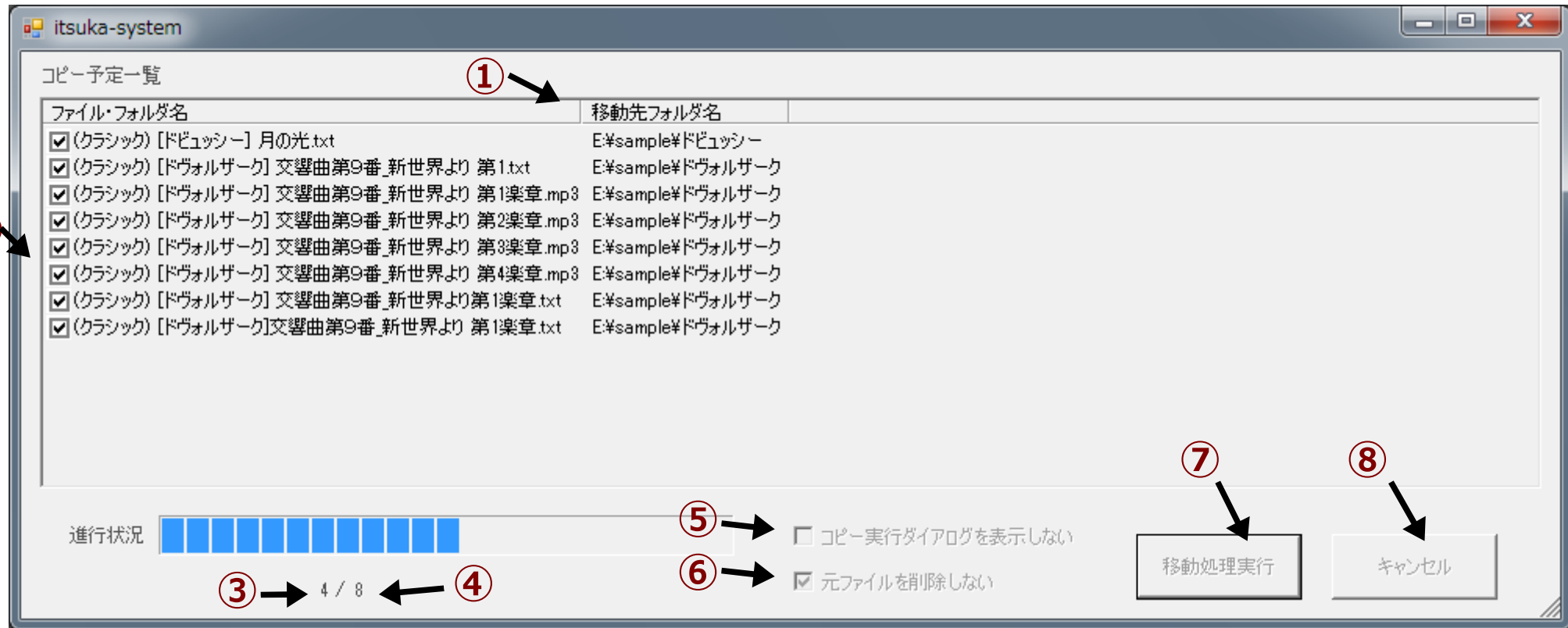


①に遷移前処理で検索したフォルダに存在する、コピー予定ファイル・フォルダ名一覧と、ファイル・フォルダを移動する先のフォルダ名が表示されます。そのリストから②のチェックボックスで、コピーするか否か選択します。

A. コピー処理実行時

- ①に表示されているリストを確認し、コピーしたくないファイルのチェックをはずします
- ⑤、⑥のチェックボックスによって、ファイル・フォルダのコピー条件を設定
- ⑦移動処理実行ボタン押下
→ファイルコピー処理実行（現画面更新）

コピーダイアログ画面②

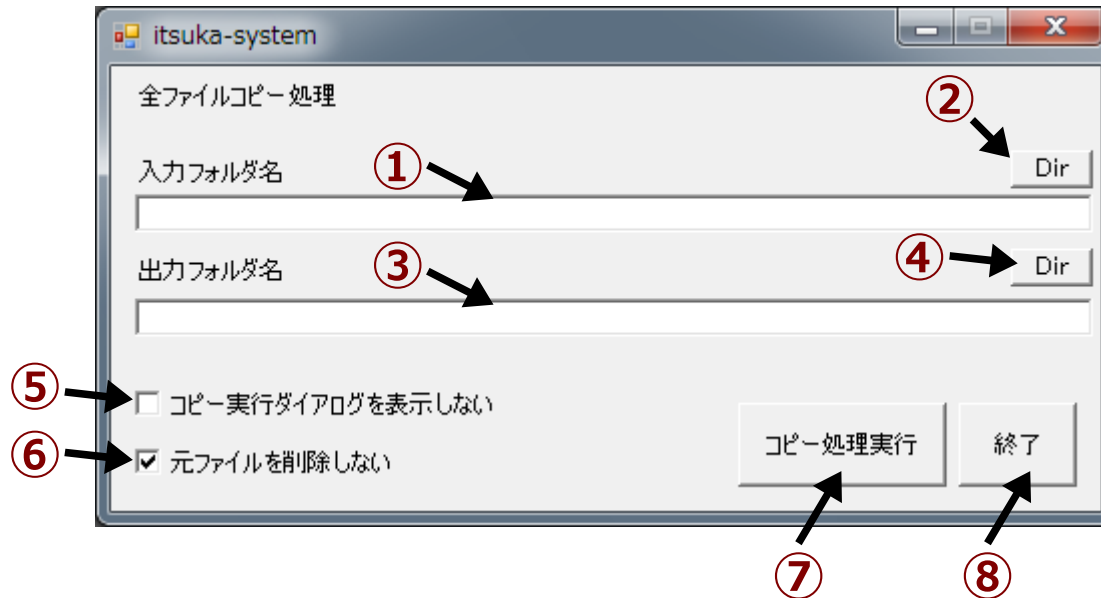


4. ③に現在状態、④に最大値が表示され、コピーが実行されるごとに、現在状態の値が更新されます
5. 処理終了時にメッセージが表示され、OKボタンを押下すると前画面へと遷移します

B. 処理終了時

1. ⑧キャンセルボタン押下
→初期メニュー画面

全ファイルコピー処理



入力フォルダのファイル・フォルダを全て出力フォルダにコピーする処理。（データをマスタに反映）

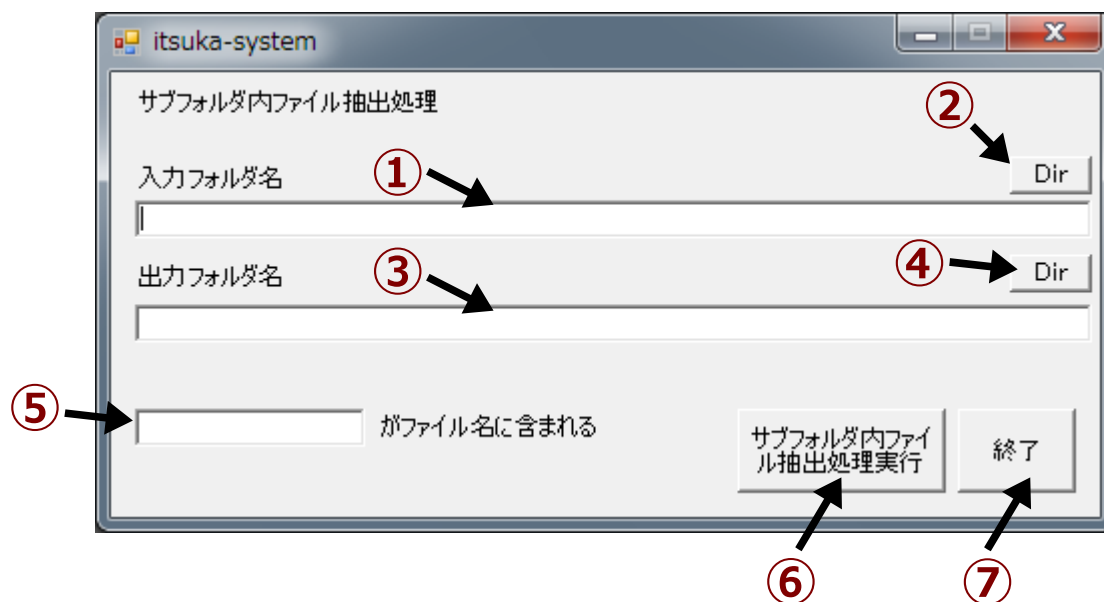
A. コピー処理実行時

1. ①入力フォルダ名設定BOXにコピー元フォルダを設定（②のボタン押下でも設定可能）
2. ③出力フォルダ名設定BOXにコピー先フォルダを設定（④のボタン押下でも設定可能）
3. ⑦コピー取得処理実行ボタン押下 （⑤、⑥のチェックボックスによって、コピー条件を設定）

B. 処理終了時

1. ⑧終了ボタン押下
→初期メニュー画面

サブフォルダ内ファイル抽出処理



入力フォルダのファイルを全て（サブフォルダ含む）出力フォルダに移動する処理。（吸い上げ処理）

A. コピー処理実行時

1. ①入力フォルダ名設定BOXにする元フォルダを設定（②のボタン押下でも設定可能）
2. ③出力フォルダ名設定BOXにする先フォルダを設定（④のボタン押下でも設定可能）
3. ⑦サブフォルダ内ファイル抽出処理実行ボタン押下（⑤項目でファイル名に含まれる文字列を設定）

B. 処理終了時

1. ⑦終了ボタン押下
→初期メニュー画面